

スエズ運河から喜望峰に迂回した船舶数が過去最多

FreshPlaza 2024年1月2日

スエズ運河から喜望峰(ケープ)に迂回した船舶の数は、12月24日時点で過去最多の125隻に達し、2021年3月にエバーギブン号が同運河で座礁した際の数を上回っている。ライナリティカ(コンテナ船情報サイト)の12月26日付けの最新情報によると、エバーギブン号の座礁によりスエズ運河の航行が7日間閉鎖された際、迂回した船は20隻未満だった。

迂回した船の最新の数は20フィートコンテナ換算で177万コンテナに相当し、同サイトは、ヨーロッパ及び米国東海岸からスエズ運河経由でアジアに戻るはずだった船が2～3週間遅れるため、輸送能力の不足の危機が迫っている可能性がある」と警告した。

2023年12月25日現在、スエズ運河を経由するアジア～欧州/米国東海岸航路の船舶の大半は、ケープに迂回するよう変更した航路を維持しており、海運会社は引き続き、武装組織「フーシ派」が船舶を攻撃している紅海航路に戻る場合の安全上のリスクを評価中である。

2024年2月10日に始まる旧正月を前にした通常の貨物ラッシュと重なり、状況は貨物市場に波及しており、12月22日の上海コンテナ貨物指数(SCFI)は15%上昇した。

海運会社がピークシーズンのサーチャージと品目無差別(FAK)運賃の引き上げを実施しているため、アジア～北欧航路の運賃は前週比で約46%上昇して1,497ドル/TEUとなり、アジア～地中海航路の運賃は約31%上昇して2,054ドル/TEUとなった。

同サイトは、海運会社が1月に迫っている輸送能力の不足を理由に更に運賃を引き上げ、アジア～北欧航路が今週2千ドル/TEUを超えると予想している。

太平洋横断航路の運賃は、紅海の混乱と1月に予想される輸送能力の不足に引きずられて上昇している。これは特に、スエズ運河からケープへの迂回のほか、パナマ運河の航行制限の影響もある北米東海岸への航路で著しい。この結果、アジア～米国東海岸航路の料金は6%上昇し、2,982ドル/FEUとなった。

一方、アジア～米国西海岸の運賃は2%上昇に留まり、1,855ドル/FEUとなった。同サイトは、「西海岸への運賃は、比較の問題としてはそれほど増加していない。これは、既存の輸送能力がスエズ運河の迂回による影響を受けておらず、すべての航路で余裕があるためである。ただし、海運会社は、迫り来るスペース不足に対処するため、輸送能力の一部をヨーロッパ航路に振り向ける可能性がある」と説明した。

出典: [container-news.com](https://www.container-news.com) (訳注: ドル/TEUは20フィートコンテナ当たり、ドル/FEUは40フィートコンテナ当たり)

(関連記事) 紅海の世界貿易の遅れが数か月続く可能性で小売価格が上昇

FreshPlaza 2024年1月3日

現在、紅海での攻撃を避けるために何百隻もの船がアフリカを迂回していることが原因で、世界の貿易の遅れが発生している。これらの遅延は、家庭用品や食料品の供給に急激な価格上昇と数か月に及ぶ混乱をもたらすと見られる。

新しい数字によると、350隻以上の船(通常は紅海とスエズ運河を航行する船の半分以上)が喜望峰を迂回しており、アジアとヨーロッパの間の定期航路に最大10日の遅れと160万ポンドの追加費用が発生している。果実、肉類、魚介類、穀物、ワイン、紅茶、コーヒー、その他多くの品物が、輸送の混乱による影響を受ける。

輸送能力において世界第2位のコンテナ船会社であるマースク社は、同社の船1隻が日曜日(12月31日)に攻撃を受けたことを受けて、火曜日(2日)の夜、船舶による紅海通過の停止を48時間延長すると発表した。このデンマークの海運会社は、貿易ルート「絶えず変化する状況」を評価中であるとして、船舶がスエズ運河の航行を再開する時期は示さなかった。

出典: [inews.co.uk](https://www.inews.co.uk) (訳注: 1月3日現在 1英ポンド=約180円)

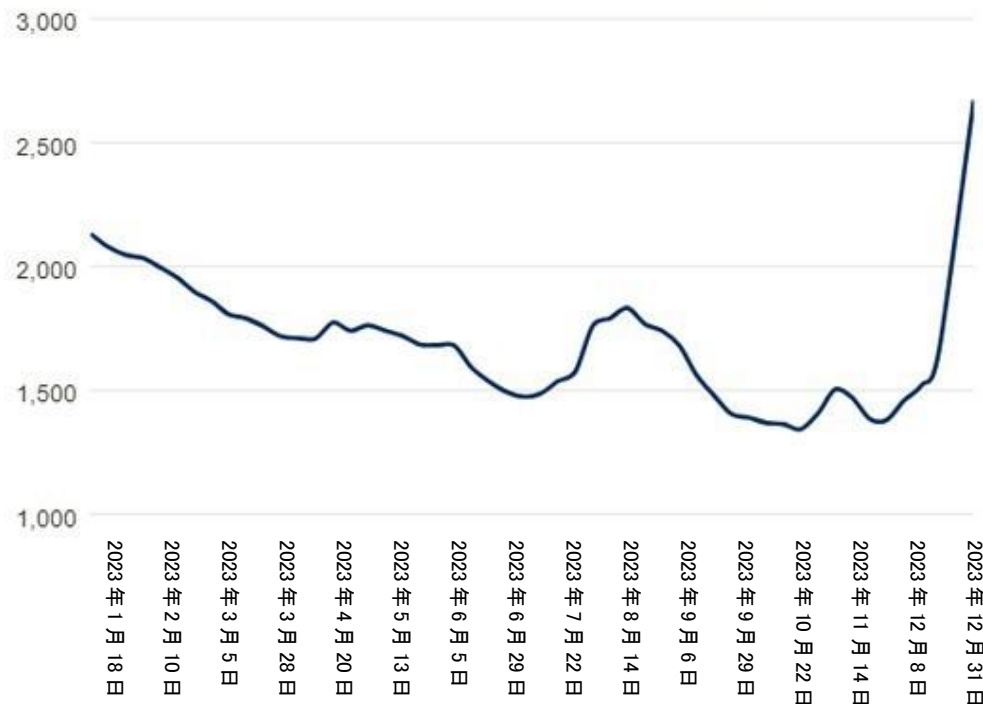
(関連記事) 世界の海上輸送運賃指数が61%上昇

FreshPlaza 2024年1月5日

1月4日の世界コンテナ指数

ドリューリー社の世界コンテナ指数は今週、40フィートコンテナ当たり61%上昇して2,670ドルとなり、昨年
の同じ週と比較して25%上昇した。(以下、料金・指数はすべて40フィートコンテナ当たり)

ドリューリー社世界コンテナ運賃指数(WCI) 2024年1月4日(米ドル/40フィートコンテナ)



最新のドリューリー世界コンテナ指数(WCI)の総合指数は2,670ドルで、2019年(パンデミック前)の平均
レートである1,420ドルを88%上回っている。

年初来の平均総合指数は2,670ドルで、10年平均の2,673ドル(2020~22年の異例のコロナ禍で膨らん
でいる)を3ドル下回っている。

上海からロッテルダムへの運賃は1,910ドルから3,577ドルへと115%(1,910ドル)急騰した。上海からジ
ェノヴァへの料金がこれに続き、2,222ドルから4,178ドルに114%上昇した。同様に、上海からロサンゼルス
への運賃は30%(626ドル)上昇し、2,726ドルとなった。同様に、上海からニューヨークへの運賃は26%
(784ドル)上昇し、3,858ドルとなった。また、ロッテルダムから上海への料金は、17%(80ドル)上昇し、546
ドルに跳ね上がった。同様に、ロッテルダムからニューヨークまでの運賃は2%(23ドル)上昇し、1,503ドルと
なった。一方、ロサンゼルスから上海、ニューヨークからロッテルダムの運賃は安定している。ドリューリー社
は、紅海/スエズ運河の状況により、今後数週間は東西航路のスポットレートが上昇すると予想している。

詳細については drewry.co.uk